評価会議（平成 28 年度中間）における委員の評価及び意見

受託者に対する評価

1　項目ごと評価

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>A委員</th><th>B委員</th><th>C委員</th></tr>
<tr><td colspan="2">地域活動協議会の現在の状況についての分析
（配点 15 点）</td><td>１４</td><td>１０</td><td>１０</td></tr>
<tr><td rowspan="3">企画提案（事業計画）の内容</td><td>事業の実施内容（支援策（取組）の内容）
（配点 20 点）</td><td>１７</td><td>１５</td><td>１４</td></tr>
<tr><td>事業の実施体制等
（配点 15 点）</td><td>１３</td><td>１０</td><td>7</td></tr>
<tr><td>今年度の重点支援策（取組）
（配点 10 点）</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td></tr>
<tr><td colspan="2">支援策（取組）の実施状況
（配点 40 点）</td><td>２０</td><td>３０</td><td>２８</td></tr>
</table>

主な意見等

・具体的分析ができている。
・他区の情報提供・交流は、視野を広げたり、新しい打開策を見い出し、主体性を上げるうえでも効果的であると思う。
・多様な主体との連携に努力が見られる。
・ＣＢが動き出そうとしていることは評価できる。
・地域の“身の丈”にも良さと悪さがあるように感じられ、優れた地域の活動を活発でない地域がどこまでくみ取っていけるかが課題。
・一つ一つの地区の特性や地域課題、役員体制を尊重しながら自主的な取り組みを支援している。
・新たな人材育成にも着手し始めている。しかしながら、組織改編に向けてつながるかは不明。
・分析は妥当だが、不活発地域に対して、身の丈に合った支援を考える必要があるのではないか。
・情報交換会など「やらされ感」のない話し合いの場を仕掛けているのは評価できる。
・順調な地域とそうでない地域とがあるが、問題のある地域に対して手厚い体制が組めているかどうかが判断できない。
・外部連携の具体化が見えない。
・ワークショップに多くの人が参加する仕掛けが重要。また、参加できない人の意向も何らかの方法で調べてもらいたい。

2　総合評価

項目	A委員	B委員	C委員
総合評価	B	B	B

主な意見等

・まちづくりセンターと区で連携を図りながら進めてほしい。
・若手メンバーへのサポートを丁寧にがんばってもらいたい。
・一つ一つの地区の特性や地域課題、役員体制を尊重しながら自主的な取り組みを支援している。

・新たな人材育成にも着手し始めている。しかしながら、組織改編に向けてつながるかは不明。
・順調な地域とそうでない（閉鎖的な）地域との差があり、支援が難しい区であると思う。
・「独自の事務局や広報担当を持つとどう活発化するか」などの好事例紹介を通じて、少しずつでも意識改革をはかってもらいたい。

（評価基準）
Ｓ：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた
Ａ：本市の求める水準以上の効果が得られた
Ｂ：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた
Ｃ：本市の求める水準の効果が得られていない